

# HIROKO 通信

■編集・発行

東京都台東区柳橋 2-7-5

Music オフィス MoMo

**新緑の山々  
小川のせせらぎが  
生命のいぶきを  
感じます**

橋妃呂子です。



世界各国で広がり続ける新型コロナウイルス。

今も「未知のウイルス」との闘いが続いています。

新型コロナウイルスによる非常事態宣言によって日本を含む世界各国の人々がかなり厳しい行動変容を求められています。

今は、刻々と変化する状況を冷静に受け止め、自分でできることをしっかりと実行して、大切な人の命や社会を守るために全力でこの危機を乗り越えていかなければなりません。

外出禁止・自粛は、人と会えなくても心の手はつないでいられます。その思いを分かち合うことが大切だと思います。

一日も早くみなさまと一緒に笑顔で過ごせる日常を取り戻し、安心してシャランソンを楽しんでいただける日を願っております。

## 新型コロナウイルス感染症 治療候補薬「アビガン」

アビガンは、インフルエンザ治療薬として富山大名誉教授の白木公康さん(67)と富山化学工業(現富士フィルム富山化学)が開発したものです。

1998年から始めた動物実験では、マウスでもインフルエンザに効くことを示せましたが、既にインフルエンザ治療薬があったことから、新型インフルエンザが出現した場合の切り札として2014年に承認されました。

実際、2014年からアフリカで猛威を振るったエボラ出血熱に使用されました。富士フィルム富山化学は4月からアビガンの治験を始め、6月末までに結果をまとめられています。人での治験では大きな副作用は確認されていませんが、インフル治療薬として妊婦への使用を禁止しています。

白木教授は、アビガンについて「緊急事態に命を救う薬という位置づけになる」とみています。

一刻も早い患者への投与が求められています。

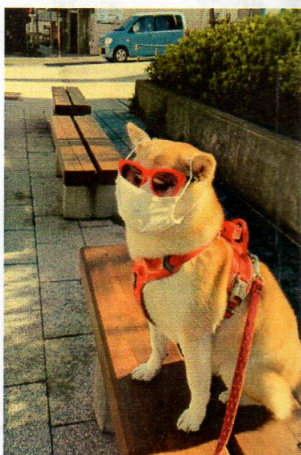
## 新型コロナウイルス

### 手洗いのポイント

- ① 帰宅後、手洗いの前に、照明のスイッチやドアノブ、エアコンのリモコン、子どもなどに触れない。
- ② 洗い残しが多いのは、指先や爪、指と指の間、手首。
- ③ せっけんやハンドソープをしっかりと泡立てる。
- ④ 手をふいたタオルやハンカチは毎日取り換え、なるべく人と共有しない。

### 妃呂子のコロナ対策

- ◎ 「メガネ」「サングラス」は除菌ウェットティッシュで拭く。
- ◎ 「マスク」の着用
- ◎ 帰宅後は洗面所に直行し「うがい」「手洗い」



柴犬の花子ちゃん 完全防備

楽しいシヤンソン発表会  
中止

4月7日の緊急事態宣言を受けて、5月16日(土)に予定しておりました「楽しいシヤンソン発表会」はお客様と生徒さんの健康・安全面を第一に中止とさせていただきますこととしました。

何卒ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。

8月24日・シヤンソン館  
橋妃呂子&仲間たち  
シヤンソンライブ

8月24日(月)午後、日本シヤンソン館(群馬県・

渋川)で「橋妃呂子&仲間たち・シヤンソンライブ」として開催の準備をすすめております。



妃呂子のオススメ・シネマ

ひまわり (1970年 伊)

この映画は、ヘンリー・マンシーの心に残る情緒的なテーマ曲が流れ、広大な丘一面に咲くひまわり畑が映し出される場面から始まり

過酷な現実を生き抜くために過去を忘れた男と、楽しかった過去に戻りたいと願う女が再会し、もう楽しかった過去には戻れない、それぞれの今の現実を生きていこうという映画といえます。

雪の中で、女の子が犬と遊んでいる時、動けなくなった兵士を見つけた家に運ぶ場面はとても感動します。

夫を探すため、ロシアへ単身で渡り、そこで現実に直面し泣き崩れるジョバナナの姿がとても印象的です。物語では3度の駅での別れの場面があり、流れるテーマ曲はとても哀しく切なく胸に迫ります。

ミラノ駅での今生の別れは、駅のホームの長さ、列車が消失点に消えていく様は、構図の美しい絵画のようです。

一面のひまわり畑。青い空とまつすぐ天に向って咲き誇る花々。



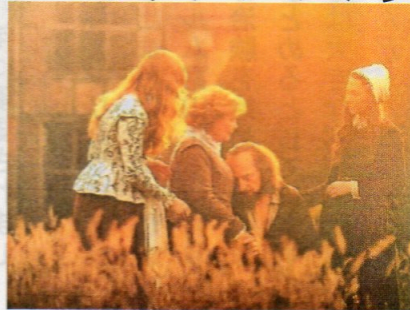
常に太陽の方を向くひまわりは「前に向いて生きる光の方向を向いて」という監督の

メッセージかもしれません。公開から50年。素晴らしい作品です。

主演は、ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ。監督は、ヴィットリオ・デ・シーカ。

シエイクスピアの庭 (2018年 英)

没後40年以て上を経て、幾多の名作を生み出した英国の劇作家・詩人シエイクスピアの生涯はベールに包まれています。



この映画は49歳の若さで断筆したシエイクスピアがロンドンを去り、20年以上の間、離れていた家族が暮らす故郷に戻ります。そして幼くしてこの世を去った最愛の息子を悼むために「庭づくり」へと情熱を注いでいきます。

故郷で過ごした人生最後の3年間。父として、夫として、失われた家族との時間を取り戻す愛と再生を描いた心揺さぶる感動作です。

監督・主演 ケネス・ブラナ

シヤンソニエ・紹介コーナー

Kuwa (新宿)

2017年8月、老舗シヤンソニエ「新宿Quii」の思い出とともに新しくオープン。

お店が広く空間があり、快適です。マスターの桑田実さんのお人柄でアウトホームな雰囲気です。

お客様コーナーがあつて、譜面を持参すればプロのピアニストの伴奏でシヤンソンが歌えます。

「新宿三丁目駅」(メトロ新宿線、丸の内線)

C7、C8出口より徒歩1分



左二番目がオーナーの桑田さん

出演予定

- ◆5/14 (木) 蛙たち (銀座)
- ◆5/26 (火) ボブハウス (六本木)
- ◆5/28 (木) ベッラマッティーナ (新橋)